

令和元年5月23日

須賀川市議会議長  
佐藤 瞭二様

請願者

新日本婦人の会須賀川支部

支部長 片野ミチ子



住所 福島県須賀川市

TEL

紹介議員

横田 洋子 (横田)

「消費税を10%に引き上げることの中止を求める意見書提出」についての請願

【請願趣旨】

政府は、予定通り2019年10月から消費税を10%に引き上げようとしています。しかし、実質賃金は伸びず、家計消費は低迷し、深刻な消費不況が続くもとの、5月13日には内閣府から「悪化」の景気判断も示されました。

このまま消費税が引き上げられれば、消費をさらに落ち込ませ、地域経済をさらに疲弊させるなど、国民生活への悪影響は計り知れません。

もともと消費税は、低所得者ほど負担が重い逆進性のある税制です。複数税率の導入やキャッシュレス決済時の「ポイント還元」、「プレミアム付き」商品券の発行など、どんな対策を講じても、増税の痛みは消えません。制度を複雑にするだけで、消費者にも中小商店にも、負担の軽減にならないことは明らかです。

景気の悪化が鮮明になる中での消費税の増税は、暮らしや経済を破たんさせかねません。

国は、歳出を見直し、格差と貧困が広がっているもとの社会保障の財源は、巨額の富を手に入れている大企業や富裕層に応分の負担を求めて確保すべきです。

ついては、地方自治法第99条の規定により、政府関係機関に対し、下記の事項について意見書を提出して下さるよう請願いたします。

【請願事項】

2019年10月から消費税を10%に引き上げることの中止すること



## 消費税を10%に引き上げることの中止を求める意見書(案)

政府は、予定通り2019年10月から消費税を10%に引き上げようとしています。しかし、実質賃金は伸びず、家計消費は低迷し、深刻な消費不況が続くもとの、5月13日には内閣府から「悪化」の景気判断も示されました。

このまま消費税が引き上げられれば、消費をさらに落ち込ませ、地域経済をさらに疲弊させるなど、国民生活への悪影響は計り知れません。

もともと消費税は、低所得者ほど負担が重い逆進性のある税制です。複数税率の導入やキャッシュレス決済時の「ポイント還元」、「プレミアム付き」商品券の発行など、どんな対策を講じても、増税の痛みは消えません。制度を複雑にするだけで、消費者にも中小商店にも、負担の軽減にならないことは明らかです。

景気の悪化が鮮明になる中での消費税の増税は、暮らしや経済を破たんさせかねません。

国は、歳出を見直し、格差と貧困が広がるもとの社会保障の財源は、巨額の富を手に入れている大企業や富裕層に応分の負担を求めて確保すべきです。

ついては、2019年10月から消費税を10%に引き上げることの中止を強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出いたします。

令和元年 月 日

安倍 晋三 内閣総理大臣

麻生 太郎 財務大臣

福島県須賀川市議会

議長 佐藤 瞭二